

市政報告



暑中お見舞い申し上げます。

府中市議会議員

水田 豊

小川 敏男

6月26日 上下町民会館 市政報告会にて

私たちの決意

4月の選挙では大変お世話になり、ありがとうございます。初心忘るべからずの精神で、支援をいただいた皆様の思いを市政へ引き続き届ける決意です。

さて、市長選・市議選の争点であった病院の共同体化構想では、いつでも入院できる身近な病院を守るために、①北市民病院の縮小化に反対します。②若者の定着を目指しJ A府中総合病院の産婦人科再開に取り組みます。

新しい議会は平成クラブが過半数を占め、これまで以上に市政のチェック機能が必要です。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

6月定例議会報告

主な決定議案はつぎのとおりです。

●府中市勤労青少年ホームの指定管理者の選考

指定管理者(管理・運営)はいままでまちづくり振興公社が行っていましたが、(有)賛興プロダクションに随意契約で変更になりました。その理由は「勤労青少年ホームの改装により宿泊や食事の提供をするため」「ウッドアリーナと一体的に活用するため」というものです。

和光園保育所の指定管理者を選考するとき、保護者のみなさんから「今の先生が一生懸命やっってもらっているので現在の保育会にし

発行者
小川 敏男
水田 豊

府中市出口町 1076-4
Tel 41-7894

て欲しい」と要望されたとき、当局は「それは随意契約と違って、選考(入札)を行なわないことなので要望に添えない」と回答しています。本来、新しい施設をどう活用するか競い合って選考されるのが指定管理者制度です。選考を行なわず随意契約をおこなうことには疑問が残ります。委託金額は、平成22年度は9ヶ月分で1040万円、平成23年度は1年分で1200万円です。

●国民健康保険税 来年度の値上げ案が示される

厚生委員会に「国保会計の現状について」という資料が配布され市の説明がありました。今年度の単年度収支は赤字となり、保険料の値上げが必要というものです。このように選挙が終わるやいなや値上げをするやり方は4年前のごみ有料化と同じです。こうしたやり方は許されるものではありません。

市の共同体化構想 = (北市民病院・JA府中総合病院) + 寺岡記念病院

実現へ向け協議会 問われる共同体化の内容

府中市の医療提供体制について、市長は病院再編を進めるため協議会を設置すると発表した。6月議会ではこの協議会について、設置の目的、スケジュール、主管部署はどこか、などについて質問をおこなった。現時点での病院再編問題を整理してみる。

着々と進む再編計画

議会では、市長、市民生活部長が答弁をおこない、おおむね次のような進行になる予定だと判明した。

まず、協議会を設置するため9月議会に医療再生協議会設置の条例案を提出する。協議会で今年度中に構想を具体化するための実施

計画の策定をおこなう。計画に基づき平成23年度1年間をかけて具体的移行を進める。平成24年春には、共同体化を実現する。

当面、9月議会までに医療再生設立準備会を立ち上げ、具体的な人選を進めるための協議・検討を始める。

協議会は、実際に医師を派遣していただく大学、また現場で実際に医療に携わっておられる医師、医療を受ける住民の皆さんの意見を聞きながら、将来にわたって府中市の地域医療が持続する体制を構築するとしている。

なお残る基本的疑問点

着々と進行されようとしている病院再編計画ですが、基本的な問題は残ったまま

です。

その1 過疎地域の中核病院である府中北市民病院の縮小には地域住民が反対しているという事実です。共同体化の名の下に住民の福祉の切捨ての強行には絶対に反対です。

その2 再編計画の財政的裏づけがないことです。県の医療再生計画Bプランの総事業費は27億4千4百万円ですが、国からの補助金は7億4千9百万円のみであり、事業主体である府中

広島県地域医療再生計画

Bプラン

事業費	2,744,000
基金	749,000
事業者負担	1,995,000
	(千円)

市は、残り約20億円を負担する必要があります。このお金をどう工面してどう返してゆくのか。これまで何の説明もありません。仮に借金をするしたら府中市民1人あたり4万4千円のあらたな負担となります。

その3 **なぜ寺岡記念病院と連携なのか**という点です。市の中間報告によると役割分担として救急的な手術をはじめとする、より専門的な医療を担うのは、北市民病院でもなく、JA府中総合病院でもなく寺岡記念病院です。適切な機能分担といえながら一番重要な役割は寺岡記念病院が受け持ちます。地域住民のためだけでなく民間病院である寺岡支援だという声もあがっています。これらの点について市はしっかりと説明責任を果たすことが必要です。

9月に設置される病院再編協議会はこうした基本的な疑問にきちんと応え議論する役割が求められています。

課題は桜が丘団地

桜が丘団地の問題を訴えると、「出来たものを責任追及ばかりしてもいけないじゃろ。いかに売るか言わんと」と言われる。

伊藤市長は当初「10年で完売できます。完売できたら5億円の利益が出ます。販売に商工会議所も協力してくれます。」と説明していましたが、販売をはじめて2年目から販売数は1桁。それにもかかわらず何の手立ても行なわない。こんなデタラメは許せません。さて販売策ですが、この間訴えてきたことは「見晴団地、緑ヶ丘団地にしても団地は若者が買うのですから、若者が一番要望されていること。産婦人科の再開と小児科の24時間体制、つまりJA府中総合病院の充実や、介護や病院など福祉や医療職場を充実して若者の雇用をはかること。そして元手は回収できなくても値を下げて販売することです。これが販売策です。桜が丘団地の販売には、なによりも若者の雇用をはかることです。しかし、病院共同体構想でおわかりのとおり、伊藤市長は病院職場を削減する方向です。これでは若者の雇用はなくなるばかりです。団地販売にもつながりません。

有効求人倍率

	府中市	福山市	広島県	全国
3月	0.29	0.66	0.61	0.49
4月	0.24	0.63	0.60	0.48
5月	0.30	0.64	0.59	0.50

※有効求人倍率とは求職者1人に何人の求人があるかを示します。

伊藤市長は、医師不足を理由に、市立北市民病院を独立行政法人化（民営化のこと）し、合わせてJA府中総合病院と統合して、新市町の寺岡病院に、その独立行政法人化した病院の経営に参画してもらうという病院共同体構想を打ち出しています。問題は共同体構想で市立北市民病院とJA府中総合病院が

病院共同体構想？

縮小されることになっていることです。そこで、「市民の生命と健康を守ることには行政の責務でないか」とまず質問したが返答がない。返答がないから病院を行政から切り離すことだけが狙いとみえる。なぜ伊藤市長は「市民の生命と健康を守ることが行政の責務です」と返答しないのだろうか。

朝令暮改

パークゴルフ場

久佐町のパークゴルフ場の料金がたった2年で改定された。利用者の減少にもなっており、年間利用券での土・日曜日・祝日の利用を認める。障害者の利用料金を半額とするなどの内容です。料金の改定は2年前に行なわれたばかり、しかもその時に土・日曜日・祝日の利用を制限

する案では利用者が減ると地元の見解もあったなかでの改定だった。2年前に地元の意見をきちんと取り入れておれば、今回、朝令暮改をおもわせる提案をしないですんだはず。今後、逃げたお客さんを取り戻すのに大変な努力も必要となります。

市長の姿勢は変わらず

「市民との対話」が市長選の争点でした。選挙後の初めての議会で、「市民の声を聞こうという姿勢はあるのか」と質問があった。市長答弁は、

「市民合意を強調されていますが、議会制民主主義の中で政策を決定する合意の基本というのはあくまでも議会であり、全市民を対象とする合意形成を図る方法

は存在しない。決定のための合意を図るということが我々の追及するものであって、その基本は議会であって議員のみなさまの賛否である。賛否の説明責任は賛否を行った議員がおこなうものである。」

選挙後も伊藤市長の市民無視の姿勢は変わっていない。誰の声を聞いて仕事をしていくのだろうか。